

# 平成26年度 学校自己評価システムシート (私立武陽学園 西武台高等学校・西武台新座中学校)

|        |   |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 将来の社会の変化に対応できるしなやかな知性と耐性のあるたくましい精神の育成。長寿社会のもと、長き生涯にわたっての学び方を学び、学び続ける方法を身につけさせる。 |
|--------|---|

|      |   |
|------|---|
| 重点目標 | 1 「人間教育を掲げた校訓を尊重する学校運営を基礎とし、更に進学実績の大幅な向上を目指し組織的、具体的な政策を一層推進する。」<br>2 「いじめのない安心・安全な学校生活の保障」を目標とする。<br>3 学校行事・部活動の充実をはかり、心技体の調和した、明るくたくましく健全な精神の育成を図る。<br>4 西武台新座中学校と高等学校との一貫教育における教育内容の統一を図る。<br>5 災害時の対応に地元及び学校組織の連携と、所在地域との交流を目指す。 |
|------|---|

|     |   |              |
|-----|---|--------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 (8割以上)  |
|     | B | 概ね達成 (6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し (4割以上) |
|     | D | 不十分 (4割未満)   |

学校関係者評価は学校評価懇話会及び、第三者評価委員会の評価を頂いた。

|                        |
|------------------------|
| 第三者評価委員会<br>出席者 関係者 3名 |
| 学校評議委員会<br>出席者 関係者 4名  |

| 学校自己評価 |            |  |  |   |   |     | 学校関係者評価   |
|--------|------------|--|--|---|---|-----|---|
| 年度目標   |            |  |  |   | 年度評価 (平成27年3月31日現在)   |     | 実施日 H27年3月30日   |
| 番号     | 現状と課題      | 評価項目   | 具体的方策  | 方策の評価指標   | 評価項目の達成状況   | 達成度 | 次年度への課題と改善策   |
| 1      | 学習環境と学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学力伸長を第1の重点とし学習内容の深化と改善を図る。</li> <li>中学校教育完成年度にあたり内容を系統的に統一を図る。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ベネッセ模試の活用。</li> <li>週明けの統一小テストの継続。</li> <li>授業評価の実施。</li> <li>NIEの活用と実践発表の充実。</li> <li>スタデイポッド及び講義室活用。</li> <li>学習時間確保のため教科の実践例研修を企画実施。</li> <li>コースの名称変更と教育課程変更</li> <li>中学校ではクラス毎に教育内容の目標達成の明確化。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>大学等の学校選択の変化。</li> <li>生徒の家庭学習時間の増加度。</li> <li>授業評価により、教職員の意識向上の具体的な変化。</li> <li>生徒学習ブース、スタデイポッドの活用実績。</li> <li>中学校での「プロジェクト・ベースド・ラーニング」の活用と英語「ザ ジングルズ」の学力向上度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路選択上の生徒意識向上と指導の改善は、結果に結びつかなかった。</li> <li>学習時間の増加は多少の伸びが出ている。</li> <li>教員授業評価実施は良い効果があるが、課題がある人の内幾人かの改善は難しい。</li> <li>学習ブースの活用は更に1年が増加した。</li> <li>「プロジェクト・ベースド・ラーニング」の効果が授業評価に反映された。</li> <li>ICT活用 PBL、「ザ ジングルズ」共今年も充実した。</li> </ul> | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路の選択方法は、システムを含め大幅に再検討したい。</li> <li>家庭学習時間の確保の研修を通じ改善とつながる方策を考えたい。</li> <li>授業評価をより薦め、価値観の高い授業の実施を進める。</li> <li>「プロジェクト・ベースド・ラーニング」、「ザ ジングルズ」共一層薦めることで、生徒の意識変化を社会に通用するものへ基礎を作っていきたい。</li> </ul> |
| 2      | 進路指導       | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の将来を鑑み進路指導の計画的、組織的な充実を図る。</li> <li>重点的に学習支援プロジェクトチームの実施。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な進学補講の確保及び長期休業中、節目での勉強合宿実施。</li> <li>進学体制の組織化の検討。</li> <li>SSS (スペシャリー サポート スチューデント) 学習体制の強化と拡充。</li> <li>就職活動の支援と充実。</li> <li>受験志望校の積極的な指導。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>進学実績の伸び率。</li> <li>生徒の学習へのモチベーション意識向上を確認。</li> <li>SSS学習の効果。</li> <li>夏期集中的な特別補講の効果。</li> <li>就職先の確保の有無。</li> <li>中学校自立学習ノート活用による成果。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路実績の伸びは昨年度から減となった。</li> <li>就職先の充実は大きな成果であった。</li> <li>3年生の意識はまだまだ伸びきらなかった。合宿による意識の向上は図られている。</li> <li>年間の特別補講は内容面では充実した。しかし外部招聘の補講は再検討したい。</li> <li>中学校自立学習ノート等の活用は、良い指導効果が出てきている</li> </ul>   | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導の伸びを図るには、コースを含め有り様をもう一度検討したい。</li> <li>進学実績の向上を図りたい。</li> <li>中学校と高等学校の連携を図るために、先の見通しを立てる検討会議を設けたが更に具体的な対応としたい。</li> </ul>   |
| 3      | 生徒指導の推進    | <ul style="list-style-type: none"> <li>一般教養の涵養と基本的生活習慣の育成</li> <li>部活動の充実。</li> <li>交通事故防止の徹底</li> <li>いじめ防止対策を組織化。</li> <li>防災意識と避難方法の改善</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初の集団宿泊研修の充実。</li> <li>挨拶の日常的励行の指導。</li> <li>服装等の規定の遵守と貴重品管理の在り方を指導。</li> <li>自転車の安全な乗り方指導強化。</li> <li>携帯電話使用のマナー改善。</li> <li>より開かれた相談室の充実。</li> <li>防災訓練実施と地域との連携</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣の自立状況。</li> <li>自転車による交通事故の減少数。</li> <li>部活動の成果。</li> <li>いじめ防止効果の有無。</li> <li>広く相談室の活用とその実績。</li> <li>インターネット、携帯電話使用等の問題点の認知度。</li> <li>地域との連携状況。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>1年集団宿泊研修の内容変更したが、徐々に挨拶等に効果として出た。</li> <li>自転車の指導は早期に通学路で職員の指導が行われた。事故防止の効果は高かった。</li> <li>各部活動の成果は例年同様の結果となった</li> <li>相談室は活用されているが、依然として効果の有無の判断は難しい。</li> <li>新座地区と連携し震災への防災倉庫が新たに設置された。現在内部備品の充実を要望している。</li> </ul>                 | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>集団訓練は充実を図り基本的生活習慣の一層の向上を目指したい。</li> <li>自転車許可者は全員保険加入を義務づけ交通事故等の防止の対策を充実したい。</li> <li>緊急連絡網の充実を推進したい。</li> <li>地元地域との連携強化を図り「ひまわり隊」の実務活動訓練も更に進めたい。</li> </ul>                                      |
| 4      | 研修体制の拡充    | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育内容の効率的な工夫と充実度を上げるため、研修体制の改善を図る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>初任者を重点とし、年間を通じた計画的な研修指導の組織化。</li> <li>夏季に全教職員の研修実施。</li> <li>秋季授業公開を実施。</li> <li>授業評価の活用。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業公開、保護者対応を含め研修の実施とその成果の確認。</li> <li>特に初任者が教師としての意識向上を図れたか確認検証。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の研修は年度当初から組織的に行われた。特に家庭学習の充実の為の公開授業も積極的に実施した。</li> <li>新任の研修会を組織的に実施を図り、実行できた。</li> </ul>   | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>研修機関を組織改編し特に新任者2年目の研修を充実させたい。</li> <li>生徒指導のノウハウを含め教職員として必要な基礎教養の習得を薦めたい。</li> </ul>   |
| 5      | 開かれた学校づくり  | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業及び教育内容の公開。</li> <li>学年及び部活動等からホームページへの積極的な発信。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会及び、中学校・塾等の見学会の招聘を積極的に実施。</li> <li>外部者向けの授業公開。</li> <li>広報におけるホームページの充実とあり方を再構築。</li> <li>中学受験者向け教育内容の紹介。</li> <li>経理公開。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校全般にわたる内容及び自己評価の公開。</li> <li>学校説明会の内容改善</li> <li>中学においては総合学習での海外との交流を図る。</li> <li>ホームページのアクセス数。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価を中心に公開を図ってきた。</li> <li>高校、中学校ともホームページの充実をし、新鮮なニュースを提供した。アクセスの大幅な増加となった。</li> <li>経理も公開とした。</li> </ul>  | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年も学校評価に関して、外部へ発信する事進め評価を受け、更に改善へと進めたい。</li> <li>インターネットを通じた学校情報発信を外部機関を活用し、適切な発展を工夫したい。</li> </ul>  |

学校関係者からの意見・評価・要望等

第三者評価委員の構成  
 大学教授 2名  
 志木市元教育長 1名  
 評価は5段階評価  
 【評価書内容】  
 人口減少は加速化、国際化も激しい。  
 ニーズに応える特色・魅力ある授業の形成は難問である。したがって国際社会で活躍できる人材の輩出は言うに易く、行なうに難しい。  
 英語力は不可欠な言語となり、入試の影響があり、その周知化は肝要である。  
 中学校との一貫教育は楽しみがある。  
 評価観点  
 (1) 目指す学校像及び重点目標 評価 5  
 (2) 重点目標達成への取組み状況。評価 4.6  
 (3) 開かれた学校造りの取組み 評価 5  
 【総合評定 5】

学校評議員評価

|  |
|--|
| 実施日 H26年12月19日                                   |
| 学校評議員構成<br>保護者会関係者 2名<br>後援会関係者 1名<br>新座市文化協会 1名 |

評価は3段階 ABC  
 (1) 目指す学校像及び重点目標 評価 A  
 (2) 重点目標達成への取組み状況。評価 A  
 【総合評定 A】

